snow peak
outdoor lifestyle creator since1958

屋外専用

取扱説明書 : Ver 1.00

GT-130

スティックトーチ

この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品は、アウトドア用に開発された屋外専用のトーチです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。スノーピークの燃焼器具は全数燃焼テストを実施して出荷しております。燃焼テストにより、ノズル、バーナーなどが若干変色していますが性能には問題ありません。

セット内容


本体


ODジョイント


充填アダプター

充填タンク


収納ケース


取扱説明書
(本書)

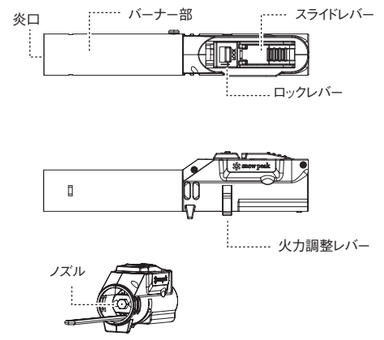
ガスカートリッジを別途ご用意ください。



OD缶(別売)

GPC-250CB
ギガパワーガスCBブタン(別売)

各部の名称



スペック

●材質:本体／ステンレス、亜鉛ダイキャスト、アルミダイキャスト、
　ブラス、ポリアセタール、ナイロン樹脂、
　充填タンク／アルミニウム合金、ブラス、
　ODジョイント／亜鉛ダイキャスト、ブラス、
　充填アダプター／ブラス、
　収納ケース／ナイロン
●サイズ:195×23×37(h)mm(充填タンク装着時)
●重量:180g(充填タンク装着時)
●ガス消費量:[OD缶使用時]140g/h
　　[充填タンク使用時]135g/h
●充填タンク容量:約6g
●出力:[OD缶使用時]1600kcal/h
　　[充填タンク使用時]1590kcal/h
●充填タンク満充填時使用時間:約2分40秒
●連続燃焼時間:3分まで
●専用ガスカートリッジ: GP-110SR/ GP-250SR/ GP-500SR/
　　GPC-250CB

※ガス消費量および出力は当社試験室にて測定、算出したものです。
※ガスカートリッジは上記の専用ガスカートリッジのみをお使いください。

安全上の注意

製品を正しく、安全にお使いいただくために、本書で使用している表示とその意味は以下のとおりです。ご使用前に必ずお読みいただき、予測される事故を回避して安全にご使用ください。

⚠危険	明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。
⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。
⚠注意	ケガや本体破損、物品破損として、拡大損害の原因となる行為を示します。

⚠危険

●テントの中や車内、屋内などの換気の悪い場所では絶対に使用しないでください。
本製品は屋外での使用を想定して設計されています。使用中は酸素を大量に消費します。テントの中や車内、屋内では絶対に使用しないでください。酸欠や有毒ガスにより死亡、あるいは重篤な一酸化炭素中毒になるおそれがあります。また、火災の原因にもなります。



●本製品には指定専用ガスカートリッジをご使用ください。
スノーピークのガスカートリッジは本製品の性能が最大限に発揮できるように作られています。それ以外のガスカートリッジは使用しないでください。またスノーピークのガスカートリッジであっても使用できるガスカートリッジが定められています。

指定専用ガスカートリッジ

ガスカートリッジを装着して使用する場合と充填タンクで使用する場合で指定ガスカートリッジが異なりますのでご注意ください。

【ガスカートリッジを装着して使用する場合】
GP-110SR / GP-250SR / GP-500SR



【充填タンクに充填する場合】
GP-110SR / GP-250SR / GP-500SR / GPC-250CB



●指定外のガスカートリッジを使用すると、製品保証と修理を受けられません。ご注意ください。
指定以外のガスカートリッジはバルブの形状、ノズルの太さなどの規格が異なります。この基本設計の違いでガス漏れが発生し、引火や火災あるいは異常燃焼を起こすことがあります。


指定以外のスノーピークのガスカートリッジ

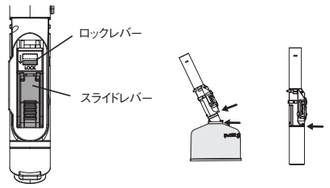


他メーカーのガスカートリッジ

●お客様による修理や改造は絶対にしないでください。
本製品やガスカートリッジは精密に作られています。改造は性能の低下につながるばかりか不完全燃焼やガス漏れの原因になることがあります。修理に関しては、お買い求めいただきました販売店または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。



●点火する前には、ガスが漏れていないことを必ず確認してください。
ロックレバーが「LOCK」側になっていて、スライドレバーを押しても動かないことを確認してからガスカートリッジまたは充填タンクを取り付けてください。ガスカートリッジまたは、ガスを充填済みの充填タンクを接続した際には、各接続部よりガス漏れがないことを確認してから点火してください。ガス漏れをしている状態で点火すると異常燃焼によるヤケド、あるいは中毒症状になる可能性があります。少しでも異常を感じた場合は、直ちにご使用を中止し、お買い求めいただきました販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。



●ガスカートリッジまたは充填タンクに充填したガスを故意に吸い込まないでください。
故意にガスを吸い込むと酸欠のため窒息死します。絶対にしないでください。



●ガスカートリッジの再充填は絶対にしないでください。
専用ガスカートリッジは繰り返し充填できるように設計されていません。絶対にしないでください。

●ガスカートリッジ及び充填タンクは40℃以下の場場所で保管してください。
外気温の上昇とともにガスカートリッジの内圧も上昇します。炎天下の車内など40℃を超えるところや、直射日光の当たるところでは保管しないでください。



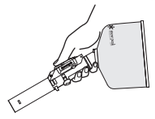
●充填タンクは、はずす前に必ず充填したガスを使い切ってください。
使用場所から別の場所へ持ち出す際(帰宅や車などを使用した移動時)は、必ず充填タンクを空にしてください。特に、充填したガスが残った状態での保管は絶対にしないでください。

⚠警告

●本製品やガスカートリッジを40℃以上の砂浜や河原の石の上、金属面、舗装路面などの上では、使用および放置・保管をしないでください。
直射日光を受けた砂浜や河原の石あるいは舗装路面などは外気温より高温になっています。その上にガスカートリッジを放置したり、本製品を使用するとガスカートリッジが過熱され、内圧が急激に上昇し、異常燃焼や爆発を引き起こすことがあります。



●本製品は、必ず手に持ってご使用ください。
転倒のおそれがあります。置いたまま使用すると、火の輻射熱や風向きの変化により炎が本体に向かい、ガスカートリッジ内の圧力が急激に上昇して、異常燃焼や爆発を起こすおそれがあります。また、手に持って使用している場合でも、異常燃焼が発生したときは、直ちに火を消して使用を中止してください。

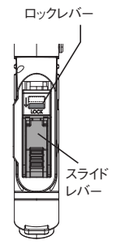


●トーチを人に向けないでください。

●ヒーターや焚火など、他の熱源の近くに放置しないでください。
他の熱源によりガスカートリッジまたは充填タンクが異常加熱し、内圧が急激に上昇し、爆発の危険があります。

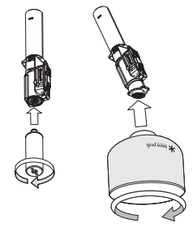


●ガスカートリッジまたは充填タンクを接続する前に、ロックレバーが「LOCK」側になっていることと、スライドレバーを押しても動かないことを確認してください。
収納時や運搬時にロックがはずれてしまうおそれがあります。ガスカートリッジまたは充填タンクを接続する際は、必ずロックレバーの位置が「LOCK」側になっていることを確認してください。



●ご使用後はロックレバーを本体に記載された矢印の方向に押し下げて必ずロックをかけてください。また、保管する時は必ずガスカートリッジまたは充填タンクを本体から取りはずしてください。
ロックをかけていない状態でスライドレバーが押されるとガスが少量ずつ流れ出て、引火する危険があります。

●ガスカートリッジ(OD缶)または充填タンクの着脱は、垂直に立てた状態でおこなってください。取り付けの際は、決して締めすぎないでください。
新しい状態のガスカートリッジは液状のガスが上部まで入っています。斜めに傾けた状態で取り付けると液状のガスが勢いよく噴出することがあり、大変危険です。周辺に火気がないことを確認し、垂直に立てて装着してください。接続するネジ部は大変重要な部分です。無理にガスカートリッジまたは充填タンクを着脱したり斜めにねじ込むと接続部が破損しガス漏れの原因になります。

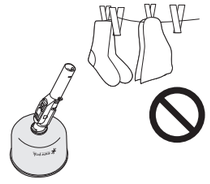


●火気のある所や、換気の悪いところではガスカートリッジの着脱をしないでください。
少量のガスが漏れることがあり、引火や酸欠などの原因となります。

●接続部分のOリング(消耗品)は、ご使用の都度点検してください。
ゴム製のOリングは、ガスカートリッジの着脱により摩耗します。また、使用しなくても劣化します。損傷したり劣化したOリングを使用するとガス漏れの原因となります。損傷や劣化があるときは直ちにご使用を中止し、お買い求めいただきました販売店または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。



●本製品は、アウトドアシーンにおける火の取扱いを補助する目的で使用してください。
暖房や衣類の乾燥などへの使用は、火災やヤケド、酸欠などの思わぬ事故につながるおそれがあります。



●爆発などの危険がありますので、ガスカートリッジは完全に使い終わってから他のゴミと区分して捨ててください。また、長時間本製品を使わないときはガスカートリッジを取りはずしてください。本体は付属の収納ケースに入れ、ガスカートリッジにはキャップを取り付けて保管してください。
ガス漏れが発生し引火や火災、異常燃焼を引き起こすことがあります。本体及びガスカートリッジの接続部分にゴミやホコリが付着すると故障の原因になります。



●空のガスカートリッジでも火の中に投じたり他の熱源のそばに置かないでください。
空になったガスカートリッジでも、微量のガスが残っています。火の中に投じたり他の熱源のそばに置くと内圧が上昇し、爆発することがあります。



●お子様の手の届かないところに保管してください。
お子様に危険が及ばないように、本製品やガスカートリッジはお子様の手の届かないところに保管してください。

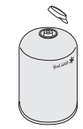


●本製品を落下させたり強い衝撃が加わった時は、外観に問題がない場合でもお買い求めいただきました販売店または弊社ユーザーサービスまで点検を依頼してください。
変形や破損による不具合が発生することがあります。



⚠注意

●ガスカートリッジを使用前に必ず点検してください。
ガスカートリッジは使用前、また保管中も時々点検してください。ガスが封入されているため、外観の傷やへこみ、サビなどが発生しているとガス漏れなどの危険がありますので使用しないでください。



●使用後は点検・清掃をして、本製品を収納ケースに入れて保管してください。
本製品に付着した水分やホコリ、ゴミなどがノズルの目づまりやサビを発生させ、故障の原因となります。次回使用時に問題が出ないように点検・清掃をしてください。



●ガスカートリッジ及び本製品は、航空機に持ち込めません。
法律および航空会社の規定により、航空機への持ち込みや預け入れは禁止されています。また、ガスを充填していない状態の充填タンクを含む本製品本体についても、航空会社や国・地域の規定により、持ち込みや預け入れが制限される場合があります。



●無理にガスカートリッジや本体パーツを取り付けたり取りはずしたりすると、接続部分が破損します。

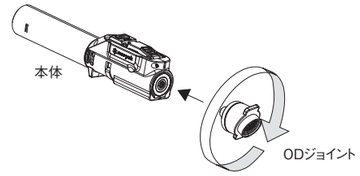
ガスカートリッジ(OD缶)の取り付けかた

⚠警告 **●指定専用ガスカートリッジGP-110SR／GP-250SR／GP-500SR以外は使用しないでください。**指定外のガスカートリッジを使用すると、製品保証と修理を受けられませんので、ご注意ください。
●取り付けの前には必ず本体及びODジョイントの取り付けネジ部(接続部)及びOリングの異常がないか確認してください。
異常がある場合はガスカートリッジを取り付けないでください。

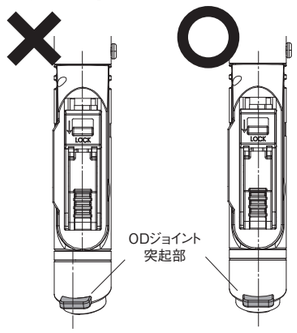
⚠注意 **●ガスカートリッジが正立(バルブが上)の状態で取り付けてください。**
●ガスカートリッジの取り付け、取りはずしの際は少量のガスが漏れることがあります。火気のある所や、換気の悪いところではガスカートリッジの着脱をしないでください。

①ロックのチェック
　ロックレバーが「LOCK」側になっていることと、スライドレバーを押しても動かないことを確認してください。

②ODジョイントの取り付け
　ODジョイントを本体ねじ部にねじ込みます。ODジョイントを時計回りに回し、自然に止まるところまで締め付けてください。

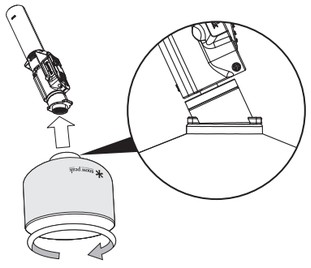


【締め付け完了の目安】



⚠注意 **●突起部がずれている場合は、締め付け不足となり、ガス漏れの原因になります。また、無理に力を加えると製品が破損したり、はずれなくなる場合がありますのでご注意ください。**

③ガスカートリッジの取り付け
　上記②で取り付けたODジョイントネジ部にガスカートリッジを取り付けます。
　ガスカートリッジを水平にし、ODジョイント部を押さえながら、ネジ部の軸線を合わせます。ガスカートリッジ底面から見て時計回りに滑らかにねじ込み、しっかりと締め込んでください。締め込みが甘いとガスが漏れる原因となります。
　※接触部分から「シュー」という音や異臭がなく、ガスが漏れていないことを確認してください。



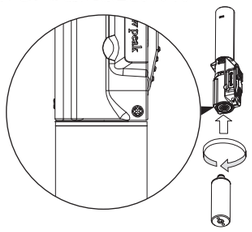
充填タンク装着及び各種充填方法

⚠警告 **●本充填タンクはGT-130スティックトーチ専用の充填タンクです。安全にご使用いただくため、GT-130 スティックトーチと組み合わせて使う以外の用途で使用しないでください。**
●充填時は必ずテーブルなど水平な場所の上でおこなってください。また各部品の取り付け時や充填時には可燃性ガスが吹き出る場合があります。火気のある場所や換気の悪い場所では絶対に操作しないでください。
●充填タンク使用時は、スノーピーク製のガスカートリッジであっても異なる種類の燃料（ガスカートリッジ）の使用により充填タンク内部で燃料が混ざらないよう注意してください。燃焼異常を起こし故障のおそれがあります。

■充填タンクと本体との取り付け

①ロックのチェック
ロックレバーが「LOCK」側になっていることと、スライドレバーを押しても動かないことを確認してください。

②充填タンクを本体ネジ部に滑らかにねじ込みます。充填タンク底面から見て時計回りに回し、しっかりと締め込んでください。締め込みが甘いとガスが漏れる原因となります。



■充填タンクへの充填方法

【ガスカートリッジ（OD缶）の場合】

⚠警告 **●充填タンクに充填可能なガスカートリッジ（OD缶）はGP-110SR / GP-250SR / GP-500SRです。それ以外の燃料は使用しないでください。指定外のガスカートリッジを使用すると故障したり、製品保証と修理を受けられませんのでご注意ください。**



GP-110SR / GP-250SR / GP-500SR
ギガパワーガス110イソ/250イソ/500イソ（別売）

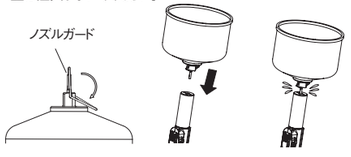
●ガスカートリッジ（OD缶）を使用する場合、取り付けの前には必ず充填アダプターの取り付けネジ部（ガスカートリッジとの接続部）及びOリングの異常がないか確認してください。異常がある場合はガスカートリッジ（OD缶）を取り付けないでください。
●充填タンクが燃料で満たされると燃料が噴出します。噴出したら、それ以上燃料を入れないでください。

⚠注意 **●充填アダプターの取り付け時には、ガスカートリッジが正立（バルブが上）の状態で取り付けてください。**
●ガスカートリッジの取り付け、取りはずしの際は少量のガスが漏れることがあります。火気のある所や、換気の悪いところではガスカートリッジの着脱をしないでください。

①付属の充填アダプターをガスカートリッジ（OD缶）にセットします。ガスカートリッジに対し時計回りに回し、しっかりと締め込んでください。締め込みが甘いとガスが漏れる原因となります。接触部分からシューという音や異臭がなく、ガスが漏れていないことを確認してください。



②充填アダプターのノズルガードを横に倒し、充填タンク底部の注入口にガスを充填します。
トーチ本体を逆さに持ち、充填タンク底部が見える状態にしてください。充填アダプター先端をトーチに対して垂直に押し付けて、ガスを注入してください。充填タンクがいっぱいになると、液体のガスが噴き出します。それ以上は注入しないでください。



③充填が終わったら、ガスカートリッジ（OD缶）に対して反時計回りに充填アダプターを回して、取りはずしてください。

【ガスカートリッジ（CB缶）の場合】

⚠警告 **●充填タンクに充填可能なガスカートリッジ（CB缶）はGPC-250CBです。それ以外の燃料は使用しないでください。指定外のガスカートリッジを使用すると故障したり、製品保証と修理を受けられませんのでご注意ください。**



●充填タンクが燃料で満たされると燃料が噴出します。噴出したら、それ以上燃料を入れないでください。

ガスカートリッジ（CB缶）を逆さに持ち、充填タンク底部の注入口に直接押し付けて、ガスを注入します。
トーチ本体を逆さに持ち、充填タンク底部が見える状態にしてください。充填タンクがいっぱいになると、液体のガスが噴き出します。それ以上は注入しないでください。
※充填タンクを逆さにしないと液体ガスを充填できません。必ずガスカートリッジ（CB缶）を逆さにして充填してください。



操作の仕方

■火力調整方法

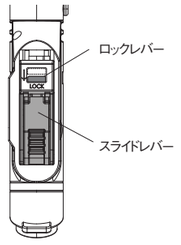
本体下部にある火力調整レバーを左右に操作し火力を調整します。図の方向から見て（＋）の方向に操作すると火力が大きくなり、（－）の方向に操作すると火力が小さくなります。

■ロックレバーの操作方法

本製品には誤作動防止兼連続燃焼のための、ロックレバーが搭載されています。保管の際や、ご使用にならない場合は安全のためロックをかけて保管してください。また、これらの操作は本体が冷えていることを確認してからおこなってください。

【誤作動防止のためのロック方法】

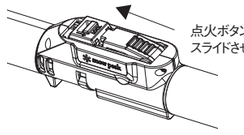
ライドレバーを操作しない状態で、ロックレバーを本体に記載された矢印の方向に押し下げます。スライドレバーが動かなくなったことを確認してください。



【連続燃焼のためのロック方法】

点火の最中にロックをかけ、ボタンを押し続けなくても、連続燃焼させることができます。

燃焼中にスライドレバーを押しながら、ロックレバーを下げてスライドレバーを固定するとガスを噴出し続け連続燃焼します。

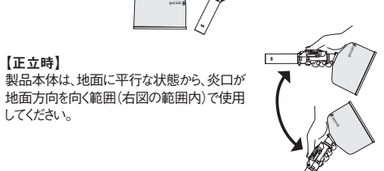


■点火方法と消火方法

ガスカートリッジを取り付けた後、接続部から連続的に「シュー」という音や異臭などがなく、ガスが漏れていないことを確認してください。ガスが漏れている場合は直ちに使用を中止してお買い求めいただきました販売店様または弊社ユーザーサービスまで修理をご依頼ください。

⚠警告 **●点火の際は、トーチに体の一部を近づけたり、炎口から中をのぞき込まないでください。**不意に大きな炎が上がり、ヤケドする危険があります。
●安定した場所に置いて着火してください。着火する際は、周囲に燃えやすいものがないことを確認してください。
●使用中や使用直後は、バーナー部は高温になっています。取扱いには十分に注意してください。
●本製品の連続使用時間は3分です。それ以上使用する場合は、一度火を消して完全に冷めてから再度使用してください。連続使用時間を超えて使用した場合、製品の持ち手部位が熱くなることによるヤケドや、製品が破損するおそれがあります。

①ロックレバーが解除されていること（スライドが上側の位置にあること）、火力の調整が最小になっていることを確認してください。
※点火時はガスの吐出し量を少なめにして点火してください。ガスが出すぎていると点火しない場合があります。
※高地や気温が低い場合は点火しにくい場合があります。



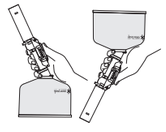
②スライドレバーを押しながらゆっくりと上側へスライドし、「カチッ」という音がするまでスライドして点火してください。青い炎が断続的に出れば着火完了です。必ず着火の確認をしてください。着火しない場合はスライドレバーの点火操作を繰り返してください。
それでも着火しない場合は、マッチやライターの火をつけ、トーチの炎口に近づけた状態で、スライドレバーの操作をしてください。
※スライドレバーを押している間のみ炎が出ます。
レバーを戻すと消火します。

③着火したら、点火ボタンを押している間は炎が出る状態になります。この際にロックレバーをセットすると連続燃焼させることができます。

④消火する際は、点火ボタンを離してください。消火していることを必ず確認してください。
※連続燃焼させている場合はロックをはずすと自動で消火します。
※使用状況によっては点火ボタンを離した後もしばらく燃焼が続くことがあります。

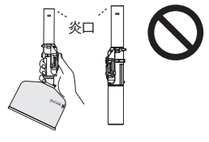
■燃焼中の使用角度

本製品は、ガスカートリッジを正立または逆さにした状態のいずれでもご使用いただけます。
※使用中は必ず手に持ってご使用ください。

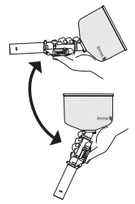


【正立時】
製品本体は、地面に平行な状態から、炎口が地面方向を向く範囲（右図の範囲内）で使用してください。

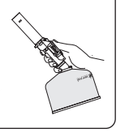
※炎口が真上・真下を向く角度では絶対に使用しないでください。本製品の想定していない使用方法であり、危険を伴うおそれがあります。



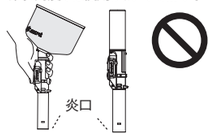
【逆さ使用時（液出し使用時）】
製品本体は、地面に平行な状態から、炎口が地面方向を向く範囲（右図の範囲内）で使用してください。



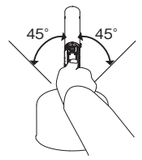
※逆さに使用する場合は、点火後しばらく（目安として約30秒）図のように正立状態で燃焼させ、炎が安定してからおこなってください。その際は、周囲に可燃物がないことを確認し、手に持った状態で燃焼させます。炎が安定しないまま逆さにすると、異常燃焼が起こるおそれがあります。



※炎口が真下を向く角度では使用しないでください。



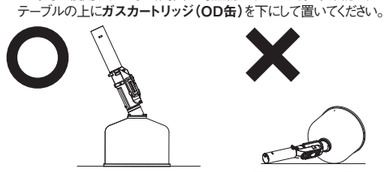
※使用時は、正立時及び逆さ使用時どちらも、バーナーの口を前方左右45°以内の範囲でご使用ください。



一時的に使用しない時の置き方

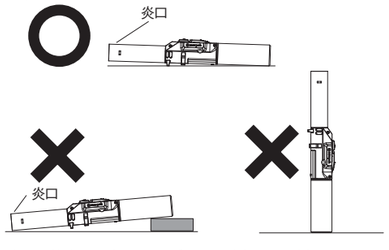
【ガスカートリッジ（OD缶）の場合】

一時的に使用しない時は、周囲に可燃物がないことを必ず確認し、テーブルの上に**ガスカートリッジ（OD缶）**を下にして置いてください。



横にして置くと安定せず、不意にガスが噴出するおそれがあります。大変危険ですので、おこなわないでください。また、製品を踏みつけ、製品の根元から折れてガスが噴出するおそれがあり、大変危険です。

【充填タンクの場合】
一時的に使用しない時は、周囲に可燃物がないことを必ず確認し、図のように耐熱性のあるテーブルの上などに横にして置いてください。



傾いた状態では、炎口がテーブルなどに触れるおそれがあります。

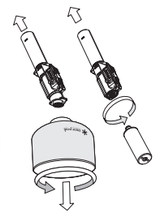
垂直に置くと倒れやすくなり、ヤケドのおそれがあります。

ガスカートリッジ（OD缶）・充填タンクの取りはずしかた

①使用直後は本体が高温になっています。本体が十分に冷めていることを確認してください。

②**【OD缶の場合】**
ガスカートリッジを水平にし、片方の手で本体操作部及びODジョイントをしっかりつかみ、もう片方の手でガスカートリッジをつかみ、取り付けた時とは逆方向にガスカートリッジを回して取りはずしてください。

【充填タンクの場合】
製品本体と充填タンクをつかみ、取り付けた時と逆方向に充填タンクを回して取りはずしてください。



収納のしかた

本体が十分に冷めていることを確認してからパーツをすべて取り付けた時とは逆の手順で取りはずしてください。

保管方法

保管時は、本体からODジョイントや充填タンクを必ず取りはずし、清潔な収納ケースに入れて保管してください。

⚠注意 **●充填タンクを使用した際は、充填された可燃性ガスを必ず使い切ってから取りはずし、保管してください。その際は換気の良い火気のない場所でおこなってください。**

使用上の注意

ガス漏れのあるもの、衝撃を受けたもの、正しく作動しなくなったものは使用せず、お買い求めいただきました販売店様または弊社ユーザーサービスまで修理をご依頼ください。
●本製品は、アウトドアシーンにおける火の取扱いを補助する目的で使用してください。
●使用する前に各接続部にゴミやホコリなどが付着していないことを確認してください。各接続部は常にきれいにして、不用意に地面に触れさせないでください。ゴミやホコリなどが付着すると出力を低下させたり、ガスが出ない、またはガスが漏れるなどの故障の原因になります。
●着火した状態で放置しないでください。使用中は必ず手で持って離さないでください。
●使用中は、ときどき燃焼状態が正常かどうかを確認してください。
●気温やガスカートリッジの温度によりガス圧が変化し、燃焼状態（炎の大きさ、形）が変化します。
●ガスカートリッジや充填タンクは高温にすると破裂する危険があるため、直射日光の当たる場所や熱源、火気の近くなど、温度が40℃以上となる場所では放置、保管しないでください。
●お子様の手の届かない場所に保管してください。
●強い風などにより使用中に炎が消えることがあります。使用中は目を離さないでください。
●使用中に異常燃焼が起こった場合は直ちに火を消して使用を中止し、お買い求めいただきました販売店様または弊社ユーザーサービスまで修理をご依頼ください。
●炎が当たる部分や炎に近い部分は金属が焼けて変色しますが使用上問題はありません。
●本製品の付属品あるいは指定されたもの以外は使用しないでください。
●使用前にガス臭がしたら、決して着火せず速やかにガスカートリッジを取りはずしてください。また、使用中のすべての燃焼器具の火や炎を消火してください。
●使用中や使用直後はバーナー部が高温になります。ヤケドのおそれがありますのでバーナー部は決して持たないでください。
●周囲に燃えやすい物がある場合は使用しないでください。
●本製品を濡れたままにしないでください。サビの発生の原因となります。
●使用後は本体に付着したゴミや汚れを落としてください。特に燃焼部はいつも清潔に保ってください。燃焼部にゴミなどがありますと本来の性能が出なかったり、異常燃焼の原因となります。

点検・手入れのしかた

使用前、使用後の点検・手入れは必ずおこなってください。
●使用前に各接合部のネジ、Oリングに異常がないか必ず確認してください。破損や摩耗がある場合は、お買い求めいただきました販売店様または弊社ユーザーサービスまで修理をご依頼ください。
●ガスカートリッジを取り付けた際、ガスが完全に遮断されており、点火ボタンを押すとガスが少し噴出することを確認してください。
●使用後に収納ケースに入れる際は、必ず本体が十分に冷めていることを確認してから入れてください。
●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。
●修理は必ずお買い求めいただきました販売店様または弊社ユーザーサービスにご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対にしないでください。

故障・異常の見分け方と処置のしかた

原因 ＼ 症状	専用ガスカートリッジを使用していない	ガスカートリッジのネジの異常	ガスカートリッジの異常	ガスカートリッジの温度が高く、ガス量が多い	ガスカートリッジの取り付けが不十分	ノズルの目つまり	ガス量調整部の異常	スライドレバーの故障	ODジョイントの破損	充填アダプターの破損	充填タンクの破損	余熱が不十分
専用ガスカートリッジが取り付けられない	●	●							●			
ガスが漏れる	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●
点火しない			●	●	●	●	●	●	●		●	
火力が弱い	●		●			●	●					
赤い火が出る						●						●
使用中に消える			●	●		●						
消火しない				●				●				
処置方法	専用ガスカートリッジを使用する	新しいガスカートリッジに交換する	ガスカートリッジを通常温度のものと交換する	ガスカートリッジの取り付けを確認する	点検修理を依頼する				新しいODジョイントと交換する	新しい充填アダプターと交換する	新しい充填タンクと交換する	予熱してから使用する

●上記の内容をご確認のうえ、万一異常がある場合やご不明な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
●消火しない場合は周囲の安全を確認し、ガスが完全になくなるまで燃焼させてください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店様または弊社ユーザーサービスまでご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

1.素材の経年劣化による損害などの製品の寿命
2.改造及び乱雑な扱いによる故障
3.取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
4.不慮の事故による製品の故障
5.その他製造上の欠陥以外による製品の故障
6.ゴミやさびによる故障
7.分解したことによる故障
8.落下やその他衝撃による部品の変形や破損による不具合
9.摩耗によるパーツの変化およびそれによる故障
10.他社製品との組み合わせによる故障

修理について

●本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
●修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
●修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
●修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
1.保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
2.保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
スノーピークユーザーサービス
0120-010-660（9:00～17:00）
Email:userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク
〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel.0256-46-5858 / Fax.0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN KOREA

snow peak
outdoor lifestyle creator since1958

Outdoor Use Only

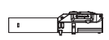
GT-130

Sticktorch

Instruction Manual : Ver 1.00

Thank you for purchasing this Snow Peak product. For safe use, please read the following instruction manual carefully. Keep it in a safe place after reading. If you do not understand the instructions or if you find a problem with the product, stop using it immediately and contact the store where it was purchased or Snow Peak customer service. All Snow Peak combustion equipment is shipped after undergoing a combustion test. The nozzle, burner, and other close parts may be slightly discolored from the combustion test. This does not affect the performance of this product.

Set Contents



Body



Fuel canister joint



Refill adapter



Refillable tank

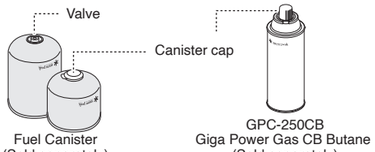


Storage Case

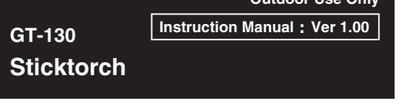


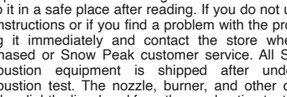
Instruction Manual
(this page)

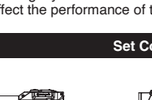
Purchase gas cartridges separately.



Name of each part







Specifications

- Materials: Body/ Stainless steel, zinc die-cast, aluminum die-cast, brass, polyacetal, nylon resin, Refillable tank/ Aluminum alloy, brass, Fuel canister joint/ Zinc die-cast, brass, Refill adapter/ Brass, Storage case/ Nylon
- Size: 195×23×37(h)mm / 7.7"×0.9"×1.5"(h) (with refillable tank attached)
- Weight: 180g / 6.4 oz (with refillable tank attached)
- Gas consumption: [When using fuel canister] 140 g/h / 4.9 oz/h [When using refillable tank] 135 g/h / 4.8 oz/h
- Refillable tank capacity: Approx. 6 g / 0.2 oz
- Output: [When using fuel canister] 1600 kcal/h [When using refillable tank] 1590 kcal/h
- Burn time at full tank capacity: Approx. 2 min. 40 sec.
- Continuous burn time: Up to 3 min.
- Dedicated fuel canisters: GP-110SR/ GP-250SR/ GP-500SR / GPC-250CB

* Gas consumption and output are measured and calculated in our factories.
* Use only the dedicated gas cartridges listed above.

Safety Precautions

To correctly and safely use this product, follow the precautions indicated by the marks used in this document. The meaning of each mark is as follows. Be sure to read below before using this product to ensure safe use by preventing foreseeable accidents.

⚠DANGER	Misuse could easily result in a serious accident or death.
⚠WARNING	Misuse could result in serious injury or death.
⚠CAUTION	Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

⚠ DANGER

• Do not use this product inside a tent or car, or indoors, or anywhere else that has poor ventilation.

This product is designed for the outdoors and consumes a large amount of oxygen during use. Never use it in a tent, car, or indoors. Oxygen deficiency and toxic gas can cause death or serious carbon monoxide poisoning. It can also cause a fire.



• Use the specified dedicated gas cartridge (silver can) with this product.

Snow Peak gas cartridges are designed to maximize the performance of this product. Do not use any other gas cartridges. Only specified Snow Peak gas cartridges can be used with this product.

Specified dedicated gas cartridge

Please note that the compatible fuel canisters differ depending on whether the torch is connected directly to a fuel canister or operated using the refillable tank.

[When used with fuel canister attached]
GP-110SR / GP-250SR / GP-500SR



[When refilling the refillable tank]
GP-110SR / GP-250SR / GP-500SR / GPC-250CB



• Please note that using a non-specified gas cartridge will void product warranty and repair.

Non-Snow Peak gas cartridges may have different specifications such as valve shape and nozzle diameter. Any difference in the basic design may lead to gas leaks, which can result in ignition, fire, or unusual combustion.



Non-specified Snow Peak gas cartridges

Other manufacturers' gas cartridges

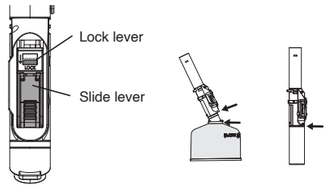
• Do not attempt to repair or alter this product yourself.

This product and gas cartridges are manufactured with precision. Altering these products can not only lead to degraded performance, but may also cause incomplete combustion or gas leaks. For repair, contact your local dealership or Snow Peak User Service.



• Be sure to check that there is no gas leak before igniting.

Before attaching the fuel canister or refillable tank, ensure the lock lever is set to the “LOCK” position and the slide lever does not move when pressed. After connecting the fuel canister or a filled refillable tank, ensure there are no gas leaks from any of the connection points before igniting. Igniting the torch while a gas leak is present may result in burns from abnormal combustion or gas poisoning. If you notice any abnormalities, stop using this product immediately and contact the store where you purchased it or Snow Peak customer service.



• Do not intentionally inhale gas from the fuel canister or refillable tank.

Inhaling gas causes oxygen deprivation and can lead to suffocation. Such use is strictly prohibited.



• Do not attempt to replenish the gas cartridge.

The dedicated gas cartridges are not designed to be repeatedly replenished. Such use is strictly prohibited.

• Store fuel canisters and the refillable tank in a location below 40°C.

A rise in outside temperature increases the pressure inside the gas cartridge. Do not store this product in places that can reach a temperature over 40°C, such as inside a vehicle in hot weather conditions or places exposed to direct sunlight.



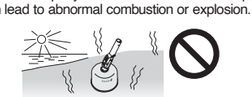
• Always deplete all gas from the refillable tank before detaching it.

Ensure the refillable tank is empty before transporting the torch from the site (e.g., when returning home or traveling in a vehicle). In particular, never store the refillable tank with gas remaining in it.

⚠WARNING

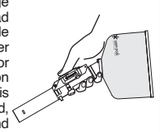
• Do not use, leave, or store this product or gas cartridge on a sandy beach, a riverside rock, a metal surface, a pavement surface, or other places that can reach 40°C or higher.

Sandy beaches, riverside rocks, pavement surfaces and such that are exposed to direct sunlight are generally hotter than outside temperature. Leaving a gas cartridge or using this product on such surfaces overheats the gas cartridge and rapidly increases the internal pressure, which can lead to abnormal combustion or explosion.



• Always hold this product in your hand when using it.

This product may fall over. Using this product placed on a surface can cause the flame to be blown toward the torch due to the fire's radiation heat or a change in the direction of wind. This can lead to rapid increase in pressure inside the gas cartridge, which can further result in abnormal combustion or explosion. If abnormal combustion occurs while you are using this product by holding it in your hand, extinguish the fire immediately and stop use.



• Do not point the torch at anyone.

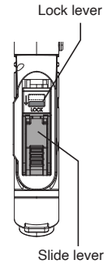
• Do not leave this product near a heater, open fire, or other heat source.

Exposure to external heat may cause the fuel canister or refillable tank to overheat, leading to a rapid increase in internal pressure and a risk of explosion.



• Before attaching the fuel canister or refillable tank, ensure the lock lever is set to the “LOCK” position and the slide lever does not move when pressed.

The lock may become disengaged during storage or transport. Therefore, always verify that the lock lever is set to the “LOCK” position before attaching the fuel canister or refillable tank.

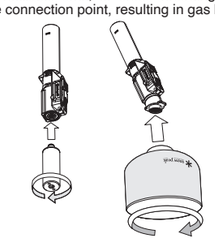


• After use, always engage the lock by pushing the lock lever down in the direction of the arrow indicated on the main unit. Also, always detach the fuel canister or refillable tank from the main unit for storage.

If the slide lever is pressed while the lock is disengaged, a small amount of gas may leak, resulting in a risk of ignition.

• Always attach or detach the fuel canister or refillable tank while keeping it in an upright, vertical position. When attaching, do not overtighten.

A new fuel canister is filled to the top with liquid gas. If attached while tilted, liquid gas may spray out forcefully, which is extremely dangerous. Ensure there are no ignition sources nearby and keep the unit upright during attachment. The threaded connection is a critical component. Forcibly attaching or detaching the fuel canister or refillable tank, or cross-threading them, will damage the connection point, resulting in gas leaks.

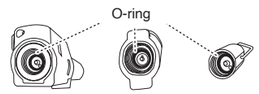


• Do not attach or detach the fuel canister near heat sources or in poorly ventilated areas.

A small amount of gas may leak, which can ignite or cause oxygen deprivation.

• Inspect the O-ring (consumable part) on the connection point before every use.

The rubber O-ring wears down through repeated attachment and detachment of the fuel canister. It also degrades over time, even when not in use. Using a damaged or deteriorated O-ring will cause gas leaks. If you notice any damage or degradation, stop using this product immediately and contact the store where you purchased it or Snow Peak customer service.



• Use this product solely for its intended purpose of assisting with fire handling in outdoor settings.

Using this device for space heating or drying clothes is dangerous and may result in fire, burns, oxygen deprivation, or other unforeseen accidents.



• To prevent the risk of explosion, completely use up the gas in the gas cartridge before disposal according to its classification. Remove the gas cartridge from this product if it is to be left unused for a long period of time. For storage, put this product in the supplied storage case and cap the gas cartridge.

Failure to do so may lead to gas leaks, which can result in ignition, fire, or unusual combustion. Dirt and dust adhering to this product and/or the gas cartridge connecting part may result in a malfunction.



• Do not toss any gas cartridge into fire or place any gas cartridge near a heat source even when it is empty.

Empty gas cartridges contain a very small amount of gas. Tossing them into fire or placing them near a heat source causes the internal pressure to rise and can lead to an explosion.



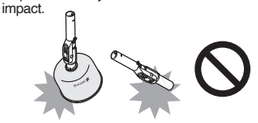
• Store this product out of reach of children.

To protect children from danger, store this product and gas cartridges out of reach of children.



• If the product is dropped or undergoes significant impact, contact the store where you purchased the product or our customer service for inspection even if there is no visible damage.

Internal problems may occur due to deformation or damage from impact.



⚠ CAUTION

• Always inspect gas cartridges before use.

Inspect gas cartridges before use and sometimes during storage. Gas cartridges are filled with gas. Dents and other damage on the outside, including rust, create a risk of gas leaks. If any damage is found, do not use that gas cartridge.



• After use, inspect and clean this product before placing in the storage case.

Moisture or debris may adhere to this product causing the nozzle to clog or rust, potentially resulting in malfunction. Inspect and clean the product so that no problems will occur the next time you use it.



• Gas cartridges cannot be carried into an aircraft.

Laws and airline regulations prohibit carrying this product or fuel canisters on board or checking them in as baggage. Furthermore, even if the refillable tank is empty, the main unit and tank may still be restricted according to specific airline, national, or regional regulations.



• Forcibly attaching or detaching the fuel canister or main unit components can cause damage to the connection point.

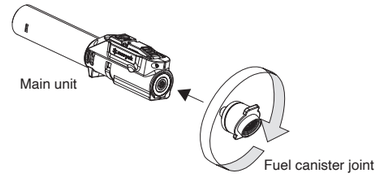
Attaching the Gas Cartridge (OD can)

⚠WARNING • Do not use any fuel canisters other than the designated GP-110SR, GP-250SR, or GP-500SR models. Please note that using a non-designated fuel canister will void product warranty and repair. •Before attachment, always inspect the threads (connection points) and O-rings on the main unit and fuel canister joint for any abnormalities. If any abnormality is found, do not attach the fuel canister.

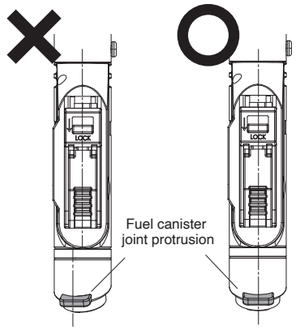
⚠CAUTION • Attach the gas cartridge in an upright position with the valve facing up.
•A small amount of gas may leak while the fuel canister is being attached or detached. Do not attach or detach the fuel canister near heat sources or in poorly ventilated areas.

①Checking the lock
Ensure the lock lever is in the "LOCK" position and the slide lever does not move when pressed.

②Attaching the fuel canister joint
Screw the fuel canister joint into the main unit. Rotate the fuel canister joint clockwise and tighten until it stops naturally.

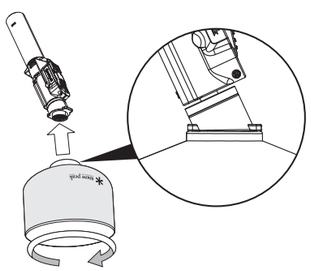


[How to confirm tightening is complete]



⚠CAUTION • If the protrusion is misaligned, the connection will be insufficiently tightened, which may cause gas leaks. In addition, please note that applying excessive force may damage this product or cause components to become stuck.

③Attaching the fuel canister
Attach the fuel canister to the fuel canister joint threads installed in ②.
Keep the fuel canister level, and while holding the fuel canister joint, align the axes of the threads. Viewing from the bottom of the fuel canister, screw it in clockwise smoothly and tighten it securely. Insufficient tightening may cause gas leaks.
*Ensure there is no audible hissing or unusual odor from the connection area, and confirm that no gas is leaking.



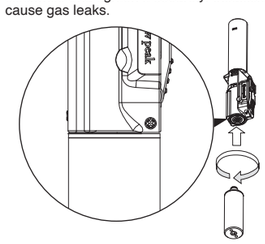
Attaching the refillable tank and refilling

⚠WARNING ●This refillable tank is designed exclusively for the GT-130 Stick Torch. To ensure safety, do not use it for any purpose other than in combination with the GT-130 Stick Torch.
●Always refill the tank on a level surface, such as a table. Flammable gas may vent during the attachment of components or while refilling. Never perform these operations near open flames or in poorly ventilated areas.
●When using the refillable tank, do not mix different types of fuel (fuel canisters) inside the tank, even if they are Snow Peak fuel canisters. Doing so may cause abnormal combustion and result in product failure.

■ Attaching the refillable tank to the main unit

①Checking the lock
Ensure the lock lever is in the "LOCK" position and the slide lever does not move when pressed.

②Smoothly screw the refillable tank into the threads of the main unit. Looking at the refillable tank from below, turn it clockwise and tighten it securely. Insufficient tightening may cause gas leaks.



■ Refilling the refillable tank

[For a fuel canister]

⚠WARNING ●The only fuel canisters that can be used to refill the refillable tank are the GP-110SR, GP-250SR, and GP-500SR. Do not use any other fuels. Please note that using non-designated canisters may cause product failure and will void this product warranty and repair.

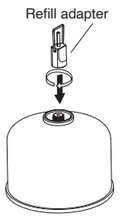


GP-110SR / GP-250SR / GP-500SR
Giga Power Gas 110 Iso / 250 Iso / 500 Iso (Sold separately)

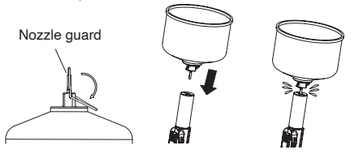
●When using a fuel canister, always inspect the threads (connection points with the canister) and O-rings on the refill adapter for any abnormalities before attachment. If any abnormality is found, do not attach the fuel canister.
●Fuel will spray out once the refillable tank becomes full. If fuel begins to spray, stop filling immediately.

⚠CAUTION ●When attaching the refill adapter, ensure the fuel canister is in an upright position (with the valve facing up).
●A small amount of gas may leak while the fuel canister is being attached or detached. Do not attach or detach the canister near heat sources or in poorly ventilated areas.

①Set the included refill adapter onto the fuel canister. Turn the adapter clockwise against the canister and tighten it securely. Insufficient tightening may cause gas leaks. Ensure there is no audible hissing or unusual odor from the connection area to confirm that no gas is leaking.



②Lay the refill adapter nozzle guard on its side, and refill the gas through the inlet at the bottom of the refillable tank.
Hold the torch main unit upside down so that the bottom of the refillable tank is visible. Press the tip of the refill adapter vertically against the torch to inject the gas. Liquid gas will spray out once the refillable tank becomes full. Stop filling immediately.



③Once refilling is complete, turn the refill adapter counterclockwise against the fuel canister to detach it.

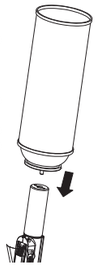
[For a cassette canister]

⚠WARNING ●The only cassette canister that can be used to refill the refillable tank is the GPC-250CB. Do not use any other fuels. Please note that using non-designated canisters may cause product failure and will void this product warranty and repair.



●Fuel will spray out once the refillable tank becomes full. If fuel begins to spray, stop filling immediately.

Hold the cassette canister upside down, and press it directly against the inlet at the bottom of the refillable tank to inject the gas. Hold the torch main unit upside down so that the bottom of the refillable tank is visible. Liquid gas will spray out once the refillable tank becomes full. Stop filling immediately.
*To refill liquid gas, the filling tank must be inverted. Always ensure the cassette canister is held upside down while refilling.



How to operate

■ Adjusting the flame

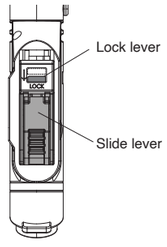
Adjust the flame by moving the flame adjustment lever located at the bottom of the main unit to the left or right. When viewed from the angle as shown in the illustration, move the lever toward (+) to increase the flame and toward (–) to decrease it.

■ Controlling the lock lever

This product features a lock lever designed to prevent accidental operation and to allow for continuous burning. For your safety, always engage the lock when storing this product or when it is not in use. Also ensure the main unit has completely cooled down before performing these operations.

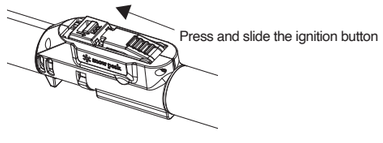
[Engaging the lock to prevent accidental operation]

Without touching the slide lever, push the lock lever down in the direction of the arrow indicated on the main unit. Verify that the slide lever cannot be moved.



[Engaging the lock for continuous burning]

You can engage the lock during ignition to sustain a continuous burn without having to keep pressing the button. While the torch is burning, press and hold the slide lever and push the lock lever down to secure the slide lever in place. This will allow the gas to keep flowing for continuous burning.

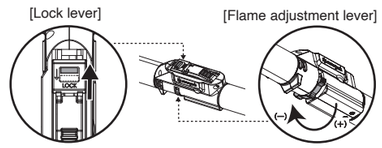


■ Igniting and extinguishing

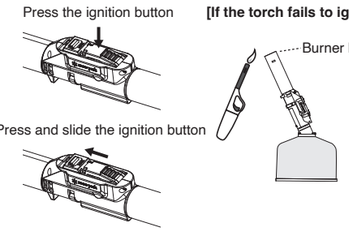
After attaching the fuel canister, ensure there is no audible hissing or unusual odor from the connection area to confirm that no gas is leaking. If gas is leaking, stop using this product immediately and contact the store where you purchased it or Snow Peak customer service for repairs.

⚠WARNING ●When igniting, do not place any part of your body near the torch or look into the burner head. An unexpected large flame may erupt, posing a risk of burns.
●Place this product on a flat, stable surface before lighting. Ensure that there are no flammable objects nearby during ignition.
●The burner head becomes extremely hot during and immediately after use. Handle this product with due care.
●The maximum continuous operating time for this product is 3 minutes. If further use is required, extinguish the flame, allow the torch to cool completely, and then resume use. Exceeding the continuous operating time may cause the handle to overheat, resulting in burns or product damage.

①Ensure that the lock lever is disengaged (the slide is in the upper position) and the flame adjustment is set to the minimum.
*Keep the gas flow low when igniting. If the gas flow is too high, the torch may fail to ignite.
*Ignition may be difficult at high altitudes or in low temperatures.



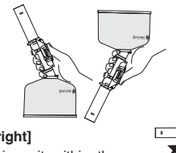
②Press the slide lever and slowly slide it upward until it clicks to ignite the torch. Once the blue flame burns steadily, ignition is complete. Always confirm that the torch has ignited. If it fails to ignite, repeat the slide lever operation.
If it still does not ignite, light a match or lighter, hold it close to the burner head, and then operate the slide lever.
*The flame only remains lit while the slide lever is pressed down.
Releasing the lever extinguishes the flame.



③Once ignited, the flame remains active as long as you keep pressing the ignition button. At this point, you can engage the lock lever to enable continuous burning.
④To extinguish the flame, release the ignition button. Always confirm that the flame is completely extinguished.
*If continuous burning is engaged, releasing the lock automatically extinguishes the flame.
*Depending on usage conditions, the flame may continue to burn for a short moment after releasing the ignition button.

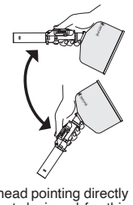
■ Operating angle while burning

This product can be operated with the fuel canister either upright or upside down.
*Always hold this product in your hand when using it.

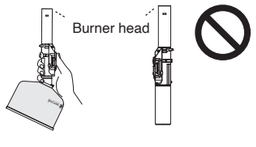


[When used upright]

Operate the main unit within the range where the burner head faces downward from a position parallel to the ground (as shown in the figure on the right).

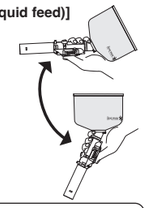


*Never use this product with the burner head pointing directly upward or downward. This product is not designed for this type of use and could be extremely dangerous.

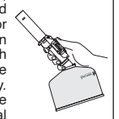


[When used upside down (using liquid feed)]

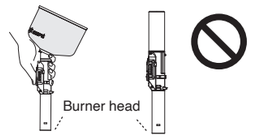
Operate the main unit within the range where the burner head faces downward from a position parallel to the ground (as shown in the figure on the right).



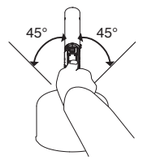
*Before turning the torch upside down, first ignite it in the upright position and allow the flame to stabilize for approximately 30 seconds (as shown in the figure). Ensure that you hold the torch in your hand while burning and that there are no flammable materials nearby. Turning the torch upside down before the flame has stabilized may cause abnormal combustion.



*Do not use this product with the burner head pointing directly downward.



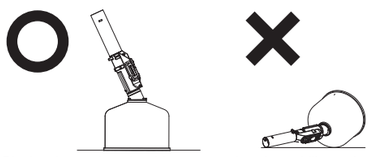
*Whether operating upright or upside down, point the burner head within 45° to the left or right of the forward direction.



Placing the torch between uses

[For a fuel canister]

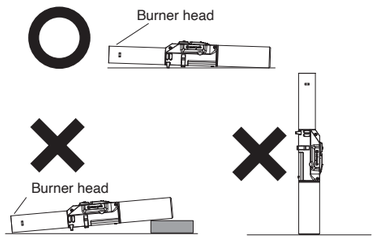
When temporarily not in use, always ensure there are no flammable materials nearby, and place the fuel canister upright on a table.



Placing the torch on its side compromises its stability and may cause sudden gas release. This is extremely dangerous—never do so. Furthermore, stepping on this product while it is lying on its side can cause the torch to snap at its base and release gas, posing a serious safety hazard.

[For a refillable tank]

When temporarily not in use, always ensure there are no flammable materials nearby, and place the refillable tank on its side on a heat-resistant table, as shown in the figure.



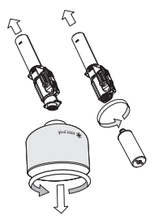
If the tank is tilted, the burner head may come into contact with the table or other surfaces.

Placing the tank vertically makes it unstable and prone to tipping over, creating a serious risk of burns.

Detaching the fuel canister and refillable tank

①The main unit is still very hot immediately after use. Ensure that the main unit has cooled down completely.

②**[For a fuel canister]**
Keep the fuel canister level. Firmly hold the main unit control section and fuel canister joint with one hand. With your other hand, grip the canister and detach it by turning it in the opposite direction from when you attached it.



[For a refillable tank]
Firmly grip the main unit and refillable tank. Detach the tank by turning it in the opposite direction from when you attached it.

How to store

Ensure that the main unit has cooled down completely, and detach all components in the reverse order of installation.

Storage

When storing this product, always detach the fuel canister joint or refillable tank from the main unit, and store it in a clean storage case.

⚠CAUTION ● Always deplete all gas from the refillable tank before detaching and storing it. Do this in a well-ventilated area away from open flames.

Precautions during use

Do not use if there is a gas leak or other malfunctions, or if the product has been dropped or damaged. If one of these occur, contact the store where you purchased the product or Snow Peak customer service for repair.
- Use this product solely for its intended purpose of assisting with fire handling in outdoor settings.
- Before use, check all connection points to ensure they are free of dust and debris. Always keep all connection points clean and do not carelessly allow them to touch the ground. Accumulated dust or debris can reduce performance, block gas flow, or cause dangerous gas leaks.
- Do not leave this product unattended while lit. Always keep a firm hold on this product with your hand during use.
- Periodically check that the flame is burning normally during operation.
- Gas pressure changes with ambient and gas cartridge temperatures, which affects the combustion, specifically the flame size and shape.
- Do not leave or store fuel canisters or refillable tanks in locations where temperatures exceed 40°C, such as in direct sunlight or near heat sources and open flames, as they pose a severe explosion hazard when overheated.
- Keep out of reach of children.
- The flame may blow out during use due to strong winds or other factors. Do not take your eyes off this product during use.
- If abnormal combustion occurs during use, extinguish the flame immediately, stop using this product, and contact the store where you purchased it or Snow Peak customer service for repairs.
- Metal parts directly exposed to or near the flame discolor from the heat; however, this does not affect product performance.
- Do not use any accessories or components other than those provided with this product or officially specified.
- If you smell gas before use, do not attempt to ignite this product. Promptly detach the fuel canister. Also, immediately extinguish any other open flames and all burning appliances nearby.
- The burner head becomes extremely hot during and immediately after use. To avoid the risk of burns, do not touch or hold the burner head.
- Do not use this product if there are flammable objects in the surrounding area.
- Do not leave this product wet. Doing so can cause rust to form.
- After use, clean off any dust or dirt accumulated on the main unit. In particular, always keep the burner head clean. Debris on the burner head can reduce performance or cause abnormal combustion.

How to maintain

Be sure to perform inspections and maintenance before and after use.
- Before use, always inspect the threads and O-rings at each connection point for any abnormalities. If there is any damage or wear, contact the store where you purchased this product or Snow Peak customer service for repairs.
- When the fuel canister is attached, ensure that the gas is completely shut off, and confirm that a small amount of gas dispels when you press the ignition button.
- Before putting it in the storage case after use, ensure the main body is sufficiently cooled before putting it in.
- Do not use this product if you think it is broken or damaged.
- Be sure to ask the store where you purchased the product or Snow Peak customer service for repair. It is dangerous to attempt repairs by yourself.

How to identify and deal with failures / abnormalities

Cause / Effect	Dedicated gas cartridge is not used	Dedicated gas cartridge screw defect	Fuel canister abnormalities	Hot gas cartridge with high gas release	Incomplete gas cartridge attachment	Nozzle dogging	Gas adjustment section abnormalities	Slide lever defects	Fuel canister joint damage	Refill adapter damage	Fuel canister tank damage	Insufficient preheating
Dedicated gas cartridge cannot be attached	●	●							●			
Gas leaks	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	
Does not ignite			●	●	●	●	●	●	●		●	
Weak firepower	●		●			●	●					
Red flame						●						●
Flame disappears during use			●	●		●						
Does not extinguish				●				●				
Treatment method	Use a dedicated gas cartridge	Replace the gas cartridge with a new one		Replace the gas cartridge with another one with normal temperature	Check the gas cartridge attachment	Request inspection and repair			Replace with a new fuel canister joint	Replace with a new refill adapter	Replace with a new refillable tank	Preheat before use

● Check this product and/or the gas cartridge according to the list above, and if you find any defects or if you have any questions, contact the dealership of purchase or the Snow Peak User Service.
● If the fire cannot be put out, ensure safety in the vicinity and allow it to burn out until it runs out of gas.

Warranty

Snow Peak has taken all possible measures to ensure every product is durable and functions correctly. If you find any product defects, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. If there are apparent defects in the product's manufacturing, the defective product will be repaired or exchanged free of charge. In other cases, Snow Peak will repair the product for an appropriate fee. The decision to repair or replace the product will be at our discretion. Snow Peak will not repair the product for any damage that occurred due to the following:1.Material deterioration caused by age. / 2.Damage caused by modifications or rough handling. / 3.Damage caused by inappropriate use not mentioned in the instruction manual. / 4.Damage caused by unexpected accidents. / 5. Any damage other than defects in the manufacturing process. / 6.Damage caused by dust or rust. / 7.Damage and defects caused by dismantling the product. / 8.Damage and defects caused by dropping, jolting or other shocks. / 9. Deterioration or failure of parts due to friction. / 10. Damage caused by the use of the product in combination with another manufacturer's products.

Repair

●If professional repairs are required, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. ●When you request repairs, please make sure that the product is dry and clean. ●Please attach a memo or a tag indicating the necessary repair and please write details of how and when the damage occurred. ● Transportation and repair costs are determined as follows: 1. Within warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by Snow Peak. / 2. Outside warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by the customer.

Snow Peak USA, Inc.
404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA
Tel. +1 (888) 424-4916 / Instagram. @snowpeakusa
Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

Snow Peak, Inc.
456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japan
Tel. +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN KOREA